

# 下野新聞 リレーコラム掲載

宇都宮市内の大学リレーコラム「五色のレポート」が下野新聞で2020年度からスタートしました。このコラムは、各大学の特色や取り組み、学生の地元・栃木への思いなどが掲載されています。

ここでは、宇都宮共和大学シティライフ学部関係の5つの記事を紹介します。

地域を支える人材育成



市内大学リレーコラム

本学では「シティライフ学部」と「子ども生活学部」が連携して「社会をつくること」を育てることを画から一人一人の学びを支援し、地域の未来を支える人材育成を目指しています。

シティライフ学部は、「都市の生活・経済・まちづくり」を学び、個性で魅力あるライフスタイルを創造、提起すること

### 宇都宮共和大

地域の就学前施設との交流を深める子ども生活学部の学生たち



**メモ** 宇都宮市大通り1の3の18（宇都宮シティキャンパス）、宇都宮市下荒針町長坂3829（長坂キャンパス）▽創立年 1999年（前身の那須大学）▽在籍数 382人（2019年5月現在）

観光「暮らし・マーケティング」「公務員・公共」という五つの履修モデルを設け、「豊かな都市生活の実現に貢献する人材」を育成します。

子ども生活学部は、保育士資格、幼稚園教諭1種免許状を全員が取得することに加えて、レクリエーション・インストラクター、リトミック、音楽療法士などさまざまな資格にチャレンジします。

「子ども心理」「子ども音楽」「子ども自然」「子ども支援」「子どもグローバル」「幼稚園・小学校教諭」という六つの履修モデルを設け、保育の実務経験のあるベテラン教員や、子育て支援の研究・教育に携わってきた優れた教員など、実践力のある教授陣が充実していることも特徴です。

(下野新聞 2020年4月12日 16面掲載)

176



# 栃木のファン 増やしたい

宇都宮共和大シティライフ学部

「はじまりのローカルコンパス」にて、益子の母大福を堪能（右から2番目が須賀さん）



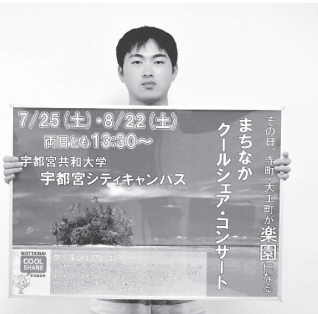
私は生まれも育ちも栃木県です。栃木県には魅力的な人や自然、文化がたくさん詰まっています。しかし、栃木県にはそれを魅力的に感じ取れない人、他県にそれを自慢しようと思えない人がまだまだいます。そのため私は、栃木県...

西山ゼミ3年 (下野新聞 2020年8月23日 18面掲載)



# 心癒やす音楽への誘い

宇都宮共和大シティライフ学部



市民の皆様には、新型コロナウイルス感染症予防のための外出自粛など、今まで経験したことのない生活を強いられてきていることと思います。そのように皆さまに少しでもお役に立つことができれば、宇都宮共...

（電子オルガンのお二人）にまちなかミニコンサート。8月は童謡・抒情歌を歌う会、宇都宮市立東小学校合唱部、コール・テル・ソレレ、バイオリン・スト・渡辺響子さんが出演してくださいませ。3密を避けるため、例年のコンサートよりも小規模となりますが、ご来場の皆さまが安心して楽しく過ごしていただけるよう、マスクの着用・検温や手指のアルコール消毒や手洗い、ソーシャルディスタンスを配慮した座席配置など、できる限りの準備をいたします。ご来場をお待ちしています。（シティライフ学部3年 小林春輝）

内藤ゼミ3年 (下野新聞 2020年7月12日 20面掲載)



# 仮想のまちなかを「散歩」

宇都宮共和大シティライフ学部



所属する高丸ゼミでは、情報通信技術（ICT）を用いた情報の利活用方法について学んでいます。私は、昨年夏に開催された宇都宮市権の「2020年によるまちなか提案コンテスト」において、「仮想空間」のみを疑似散歩し情報の...

高丸ゼミ2年 (下野新聞 2021年3月14日 20面掲載)



# 今できる学問、楽しみたい

宇都宮共和大シティライフ学部



私は観光について学ぶゼミの活動として、市内各地区でグリーンツーリズムを通じた地域活性化の活動に取り組んでいます。大学で学べるだけでなく、実際に大台へ何度も足を運んで現地の様子を目の目で見たり、地元の農家や...

「実際に農家での作業を通して、何がツアーの素材になるか考えます」という長嶋さん（左）

波邊ゼミ2年 (下野新聞 2020年10月11日 22面掲載)